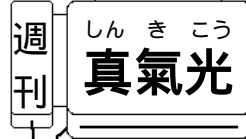


SAS Weekly SHINKIKO News
平成20年
(2008年)
2月7日
555
(木曜・夜発行)



発行：株式会社 エス・エー・エス
東京都豊島区東池袋 1-30-6
セイコーサンシャインビル3階
TEL 03-5953-6750
ニュース

あなたと中川会長とSASを結ぶ情報通信

【ご案内】 体験会 9日(土)鳥取県米子市、10日(日)岡山県岡山市、11日(月)香川県丸亀市、16日(土)広島市・新潟市 真氣光セッション 16日(土)札幌、17日(日)仙台 真氣光研修講座 2月8日(金)～11日(月・祝)開催 真氣光レッスン 2月17日(日)遠隔真氣光の他に、センターでは会長のミニ講義を視聴できます。

中川 雅仁会長 —— 今週の気づき



ひざサポートが新しくなります

寒い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか。先日は東京でも積雪がありました。月曜でしたが私が沖縄から帰宅すると、マンションの玄関口に、隣の家の子供達を作ったと思われる雪だるまが2つ、並んで出迎えてくれました。大人たちは「滑らないように」「寒い」「電車や飛行機が遅れる」など降雪はマイナスイメージになりがちですが(特に北国育ちの私などは珍しくもなく)、同じ事もプラスに受け取ることの大切さを無邪気な子供達に教えられます。この季節、我が家では体温まる寄せ鍋が大流行します。妻の「今晚は何にする」の問いに、考えるのが面倒な私は合い言葉のように「ナベ」と答え、材料を入れるだけの素早く簡単にできるメニューが、妻にとっては好都合なのかもしれません。ところで「冷える」「身体に気を取り入れたい」という人に最適なヘルシー気サポートシリーズが、新しい素材で発売になります。このシリーズの歴史は古く、15年以上も昔のことですが、先代が特殊繊維に真氣光の波動が記憶させられると、開発したものでした。しかし特殊繊維を使用していた為に値段が高くなる傾向がありました。私は同じような気の効果がある物をもっと安く作れないか、いろいろ検討しましたが、繊維に特殊なものを混ぜるとどうしても高くなることわかりました。そこで発想を変え、繊維は一般的に流通しているものを選び、<真氣光>の波動を記憶させたチタン微粉入りのウレタン樹脂を、後から繊維に付着させる方法にしたのです。繊維素材はいろいろな物が考えられましたが、今回のサポートシリーズは良質な天然シルクを選びました。シルクには18種類ものアミノ酸が含まれ、お肌に潤いを与え保護する作用があります。保温性と放湿性に優れていますので、冬は暖かく夏はサラリと季節を問わず素肌を快適にケアしてくれることでしょう。ひざにやさしくしなやかにフィットするように、前側は平編み仕上げ、後側はメッシュ仕上げになっています。染色なしの自然なやさしい風合いになっています。平編み部分に前述の粒状ウレタン樹脂を付着させていますので、ひざを中心に着用するだけで気を受けることができます。また、伸縮性のあるフリーサイズですので、どのような方にもご使用いただけます。ひざ用ですが、肘や腕などにも付けることができますので、幅広くご活用ください。なお現在、同じ素材で足首用も製作中です。今月の下旬には発売できる予定ですので、併せてお試しください。

ヘルシー気サポートひざ用新発売

ヘルシー気サポートひざ用

発売日：2月10日(日)
素材：シルク87%、ポリエステル12%、
ポリウレタン1%
サイズ：ひざ廻り 約30cm～50cm
長さ 約26cm
フリーサイズ1枚入り
価格(税込み)
定価 ¥3,150円
正会員の方 ¥2,992円



氣の効果を実験しました

不思議な事がありました。MDのイヤホンが故障したのか右側が聞こえなくなり、買い替えなければと思いながら左側だけで聞いていました。そのMDで、初めて音気を電車の中で聞いてみましたら、右側からも聞こえてきてビックリしました。氣はコ・ドの不通のところも越えてしまふ...と。耳から音氣が入ってきたら、身体中に入っていく様な気がしました。又、蛍光灯の防湿の為のカバ-が堅くて開けられなかったのですが、アクアクリップで無限大のマークを作って氣をかけてみると開ける事が出来、切れていた蛍光灯を交換する事が出来ました。クリップはノ-マルハイゲンキの50倍と聞いていますが、良く効きました。(兵庫県 川端泰子さん)



「生かされている」事への意味

私たちが平和で過ごす日常のなかで、時々幼い魂や若い魂に出会う事があります。戦争やいくさで亡くなった魂さんたちです。彼らが共に願うことはただ一つで、改めて平和の大切さに気づかされます。彼らの他にもまだ苦しみのなかにいる、多くの魂さんたちがいるのです。それを忘れてはいけません。「生かされている」私たちは彼らに感謝しつつ、「生かされている」事への意味にも気づく、責任があるようです。(A.D.さん)

食べられる事への感謝

食べ物に関する報道が続いていますね。1月の会長セッションで、武士と思われる魂さんに教えていただいたこと...いえ、叱られたことをご報告します。「食べ物をたべられるということへの、感謝がなさ過ぎる」ということです。その方が生きた時代は、戦いで命を落とすことも多かったのでしょう。でも、空腹なのに口に入れる物が何もないことも多かったそうです。食べられないということ、いつ死んでも不思議ではなかったのだそうです。今の時代は、「生きるために食べる」という基本的なことから大きく外れ、ダイエットだ、グルメだと、「食べられる感謝」をととても忘れていて怒っていらっやいました。基本を忘れていから、食べ過ぎたり、偏った食生活を送るんだと、歯がゆい思いをされているようでした。思わずごめんなさいと心の中で謝っていました。(身に覚えがあったので...)腹八分とかいいいますが、健康面だけでなく、生きるために食べるのであれば、それくらいでいいということでもあるのでしょう。戦いの時代は、いつも「飢え」と一緒にあるということ。そんな命の危機も乗り越えてきた先祖のお蔭で、私の今日もあるということ。本当に感謝です。「食べ物への感謝」とともに、「食べられる感謝」を忘れずに暮らそうと思います。分かっているつもりで、心の底で分かっていたのだと思います。なんだか最近、不必要な食欲が出なくなった気がしてます。体重を減らしたいと思っているので、ありがたいです。(熊本県 中村博子さん)



【携帯専用】氣配り画像を配布しています

携帯メールで週刊真氣光ニュースを購読すると、氣ロゴと会長の自筆の一言が入った会長撮影の画像が受信できます。(受信希望の方は、各センターのスタッフへお問い合わせ下さい。)

